2023 年度　水球男女スクワッド日本代表選手選考要項

公益財団法人日本水泳連盟
水球委員会

1　2023 年度国際派遣試合

本要項は次の大会への水球日本代表選手（男女)の編成を定める。ただし、本連盟水球委員会(以下「水球委員会」という)は、現在、2023 年度については下記①から⑤の大会への参加を検討しており、大会への不参加が決まった場合には、本要項は適用されない。一方、本要項に記載されていない国際大会が追加的に開催される際には、大会への参加が決まった場合に、選手を選考する。

① ワールドカップ(旧：ワールドリーグ)
【男子】
Super Final　2023 年 6 月 30 日～7 月 2 日（ロサンゼルス暫定）
（参考：Division 1 予選　2023 年 3 月 8 日～10 日/3 月 14 日～15 日（ザグレブ・クロアチア））

【女子】
Super Final　2023 年 6 月 23 日～25 日（ロサンゼルス暫定）
（参考：Division 2　東アジア＆オセアニア予選　3 月下旬（シンガポール））

② 世界選手権
【男女】 2023 年 7 月 16 日～30 日（日本・福岡）

③ アジア大会
【男女】 2023 年 9 月 23 日～10 月 8 日（中国・杭州）

④ 世界選手権
【男女】 2024 年 2 月 2 日～18 日（カタール・ドーハ）

⑤ 国外チーム派遣・招聘事業
詳細未定

2　日本代表選手団編成方針(選手選考基準)

本要項により選出される 2023 年度スクワッド代表候補選手(以下「代表候補選手」という)及び日本代表選手(以下「代表選手」という)は、次の基準に基づいて選考する。

1）日本代表選手団は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある日本を代表するにふさわしく、かつ参加各国・地域との友好と親善に寄与できる選手・役員をもって編成する。

2）代表候補選手及び代表選手は、次の基準に照らして選考する。
① 日本水泳界の期待に応えうる競技力を持つ者の中から、以下の目標大会で入賞及びメダル獲得を目指す為の能力を有する者を選考する。なお、入賞及びメダル獲得の目標大会は、次の優先順位とする。
第 1 順位の目標; 2023 年アジア大会優勝（男女）
第 2 順位の目標; 2023 年・2024 年世界選手権決勝トーナメント出場（男女）

② ①の能力は、選手個人の能力だけでは判断せず、「日本代表が目指す強化方針」への理解度(代表選考のみに適用)、選手のチームへの貢献度、他の選手との協調性や調整能力等、チームとしての最大のパフォーマンスを発揮できるという視点から総合的に判断する。

③ 過去1年間に次の1つに合致する者、あるいは過去1年間より前に次の1つに合致する行為を複数回行った者は選考しない。ただし、水球委員会が当該選手に特段の事情を認めた場合はこの限りではない。

・日本代表選手行動規範を遵守できなかった者
・代表監督の戦術の指示に従わなかった者
・チームワークを乱す行動を取った者
・日本代表チームの目標に対して不利益と思われる行動及び言動を取った者

3 代表候補選手の選考方法

1)原則的選考方法

1 本連盟水球委員会が、公益財団法人日本水泳連盟競技者登録済みの選手を対象として、代表候補選手を選考する。その手続は次のとおりとする。

① 水球委員会強化部会において、代表候補選手案を選考する。
② 上記案に基づき、水球委員会において、代表候補選手を選考する。水球委員会における選考は、満場一致を原則とするが、委員の意見が分かれた場合は、多数決をもって決する。

2 代表候補選手は、14人から30人程度とする。

3 代表候補選手の選考は、所属チームが国内であるか国外であるかを問わず、選考の当年度または直近に開催された、以下の大会等における各選手のパフォーマンスを参考に選考する。

国際競技会

・ オリンピック(アジア予選、最終予選を含む)
・ 世界選手権(アジア予選を含む)
・ ワールドリーグ インターコンチネンタルカップ/スーパーファイナル
・ ワールドカップ
・ アジア大会
・ アジア選手権
・ U20 世界選手権
・ U19 アジア選手権
・ U18 世界選手権
・ U17アジア選手権
・ U16 世界選手権

国内競技会

・ 日本選手権(各予選会を含む)
・ 日本学生選手権
・ 関東学生リーグ
・ 関東学生新人戦
・ 高校総体
・ 国民体育大会

・ ジュニアオリンピック大会
・ 全日本ジュニア(U17)選手権
・ 全日本ユース(U15)選手権

4　上記3.に該当しない場合であっても、選考当年度のシーズンにおいて、次にあげる対象国の1部リーグに所属するクラブチームに在籍し、公式試合における出場実績を持つ選手は、上記3. の競技会に出場することなく、日本代表候補に選考することができる。この対象国は、過去 2 大会の世界選手権上位 8 位以内の国、または前回のオリンピック上位8位以内の国とする。

5　上記の試合に、怪我・新型肺炎(COVID-19)感染などの理由で出場できなかった選手については、所属監督から水球委員長宛に、書面をもって、当該選手に対して追加の評価の機会を与えることを申し入れることができる。水球委員会は、この申し入れがあった場合は、評価の機会を追加することができる。

2)補充的選考など

1　水球委員会は、必要に応じて、2023 年度スクワッド代表候補選手を追加選出することができる。
2　水球委員会による、前項の判断は、原則的選考方法の対象大会のみならず、全ての大会・練習等を参考とする。
3　代表候補選手として選出された者が、選手選考基準2)③に該当する行為を行った場合は、水球委員会は当該選手を代表候補選手から除外することができる。

3)代表候補選手の強化方針

1　代表監督は代表候補選手に対して、「日本代表が目指す強化方針」を説明し、代表候補選手は、この強化方針に従って強化に努める。
2　代表候補選手の強化は、所属チーム及び国内外強化合宿における強化を併用する。
3　国内外強化合宿において強化を図る選手は、代表監督(男・女)が決定し、必要に応じて代表候補選手以外の者を国内外強化合宿に招集することができる。

4　代表選手の選考方法

1) 本連盟の選手選考委員会は、2023 年度国際派遣大会の各代表選手(補欠を含む、以下同じ)を、代表候補選手の中から選考する。その手続は次のとおりとする。
① 水球委員会において、代表選手案を選考する。
② 水球委員会における選考は、満場一致を原則とするが、委員の意見が分かれた場合は、多数決をもって決する。
③ 水球委員会は選手選考委員会に対して、代表選手案を推薦する。
④ 派遣する大会ごとに、選手選考委員会によって、代表選手を選考することもできる。

2) 代表選手の人数は、参加する大会要項に定められた人数構成に加え、原則として3～4名の補欠を選考する。

3) 水球委員会における代表選手選考は、所属チームが国内であるか国外であるかを問わず、選考の当年度または前年度に開催された、以下の大会等における各選手のパフォーマンスを参考に選考する。

国際競技会
・ オリンピック(アジア予選、最終予選を含む)
・ 世界選手権(アジア予選を含む)

- ワールドリーグ　インターコンチネンタルカップ/スーパーファイナル
- ワールドカップ
- アジア大会
- アジア選手権
- U20 世界選手権
- U19 アジア選手権
- U18 世界選手権
- U17アジア選手権
- U16 世界選手権

国内競技会

- 日本選手権(各予選会を含む)
- 日本学生選手権
- 関東学生リーグ
- 関東学生新人戦
- 高校総体
- 国民体育大会
- ジュニアオリンピック大会
- 全日本ジュニア(U17)選手権
- 全日本ユース(U15)選手権

4) 上記3)に該当しない場合であっても、選考当年度のシーズンにおいて、次にあげる対象国の1部リーグに所属するクラブチームに在籍し、公式試合における出場実績を持つ選手は、上記3)の競技会に出場することなく、日本代表候補に選考することができる。この対象国は、過去 2 大会の世界選手権上位 8 位以内の国、または前回のオリンピック上位8位以内の国とする。

5) 代表候補選手の内、選考対象となる国際/国内大会等において怪我などの事由により十分な能力が発揮出来なかった場合は、代表候補選手及び所属監督連名で、水球委員長宛に、書面をもって、当該選手に対して追加の評価の機会を与えることを申し入れることができる。水球委員会は、この申し入れがあった場合は、評価の機会を追加することができる。

6) 日本代表として選考された選手が新型肺炎(COVID-19)感染等、選考要項 1 に示された国際大会への参加が不可能となった場合、補欠選手を日本代表選手として繰り上げる。

5　選考要項の説明方法

1) 水球委員会は、2023 年 1 月 13 日、本選考要項案を決定し、その後、2023 年 2 月 8 日、本連盟常務理事会での承認を得た。

2) 水球委員会は、本連盟ホームページによる告知により、本選考要項を選手に周知させる。

以上